殿ヶ谷の丘

令和４年９月２２日
横浜市立飯島中学校

「　準備と本番と、輝く人と作る人　」

校　長　　松田　肇

９月１３日、とてもとても良い天気の中、久しぶりに一日開催の体育祭を実施することができました。各家庭１名の限定にはなりましたが、３００名にせまる保護者の皆様に見ていただくことができました。様々なご協力、本当にありがとうございました。

夏休みが明けてから、毎日のように昼休みにグラウンド全面で各クラスが大縄跳びの練習を積み重ねている風景が続いていました。毎日とても暑い中、（しかもお昼ご飯を食べた直後！）クラスでグラウンドに集まって活動するのは体力的にも精神的にも結構大変だろうな、と思いながら見ていました。少しじっくり見てみると・・

気持ちがとても前向きで、クラスを明るく引っ張るパワーをもっている人が目につきます。とても協力的にクラスや活動を支えている人がたくさんいます。色々あって、ちょっと気持ちが乗り切らない人ももちろんいたりします。そんな人たちが集まって、それでも何とか本番で結果を出すことを目標に協力する態勢をつくっていく、その姿は本当に素敵です。練習しながら、「なんであのクラスはあんなに跳べるのかな」「どうするともっと跳べるのかな」等と考えたり、話し合ったり、作戦を作ってクラスで共有していく過程も大事な経験です。練習が重なっていき、本番が近づいてくると、各クラスで大きなうねりのようなものが発生してくるのを感じました。みんなの気持ちというか、想いというか、そういったものが揃ってくる瞬間なのかもしれません。そこからは集団の成長が一気に加速するように見えました。そして体育祭当日。本番ですね。当日のパフォーマンスは、それはそれでとても緊張感もあり、力を出せたり出せなかったりするわけです。それはとっても見ごたえがあって、感動的です。感動的なのは、その前に、「準備」の期間がしっかりあるからなんだな、と改めて感じます。出てくる様々な結果に、選手も観客も大きく心を動かされます。これが、行事のひとつのだいご味ですね。

その本番で、輝いた人たち、おめでとう。本番でパフォーマンスを発揮できた人たちですね。その成功経験は、人生に大きな影響を与える可能性があるものです。大事にしてください。そして、本番で成功した人以外にも、表面は輝いて見えないかもしれないけれど、内面で深～い達成感や充実感を感じている人がたくさんいます。それぞれの役割で、一生懸命準備し、体育祭を作ってきた人たちです。仲間と協力し、作り上げた「楽しい一日」。その経験は、ヒーロー、ヒロインに勝るとも劣らない大きな財産になっていると思うのです。また、本番でうまくいかなかった人たちもいますね。「準備したのに」「がんばったのに」その分悔しい思いを感じます。この経験も、やっぱり人生に大きな影響を与える可能性があるものだと思っています。必ず、何か次のトライの時、レベルアップした準備ができるようになる、そういう成長の可能性につながる経験、財産なのだろうと思うのです。

飯島中の皆さん。楽しい一日を、ありがとうございました。一生懸命な姿は、本当に素敵でした！また次の機会の新しい経験を、一緒に楽しめることを期待しています。

第４２回　体育祭が行われました！！

9月13日（火）に第 42 回体育祭が行われました。コロナ禍でこの 2 年間半日開催で行われていましたが、3 年ぶりに一日開催で行われました。体育祭までの期間、昼休みにはどのクラスもグラウンドで大縄の練習に取り組み、学年練習や色別練習ではクラス団結して優勝目指して練習を行いました。

体育祭当日は気温が30度を超える真夏日となりましたが、生徒たちは暑さに負けず、今までの練習の成果を思う存分に発揮し全力で競技を行いました。暑い中、多くの保護者の皆様にも生徒の勇姿をご覧いただきありがとうございました。

開会式

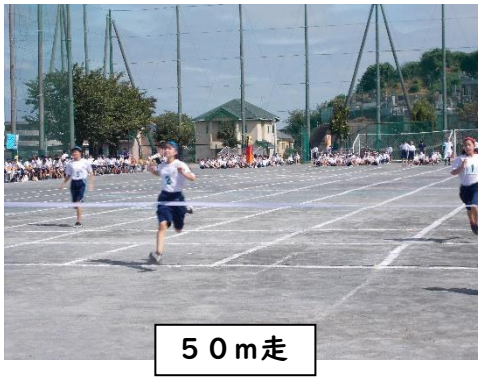
快晴のもと全校生徒そろって開会式

実行委員髙橋さんによる開式の言葉

応援団長の選手宣誓　凛々しく立派でした！

午前の部

応援合戦　各組の応援団がエールを送りあいました。大迫力！



５０ｍ走

１年学年種目　台風の目

２年学年種目　とびつき綱引き

３年学年種目　岳ちゃん運送

競技の後はしっかり手洗い

色別対抗綱引き

学級対抗リレー

午後の部

部活動対抗リレー

大縄跳び

色別対抗リレー

閉会式

緊張の結果発表

青組が優勝しました。おめでとう。赤組もがんばりました。

実行委員長　広瀬さんによる閉会の言葉

応援団長からのメッセージ

赤組

2組　応援団長　加瀬　敦さん

応援団長として最後までやり切れてよかった。正直周りとの温度差を感じていたが、一人の応援団員としての自覚をもち、頑張る仲間たちを応援しきれてよかったです。

4組　応援団長　伊藤　春輝さん

僕は体育祭を終えて赤組、青組共に、とても良い戦いができたと思います。負けて悔しかったり、勝って嬉しかったり、それぞれ色々な思いがあると思いますが、この体育祭が皆にとって良い思い出になると良いなと思いました。

青組

1組　応援団長　菊地　隆祐さん

みなさん、体育祭お疲れさまでした。青組と赤組、勝ち負け関係なく熱い体育祭になり、いい思い出になりましたね。これからの行事も楽しんで行きましょう。

3組　応援団長　藤末　統弥さん

僕は応援団長として応援団に貢献し、本番を全力でやりきり最高の演技ができて嬉しさと達成感でいっぱいです。みんなが全力で体育祭に取り組み盛り上がっている姿を見てとても感動しました。チョベリグな体育祭でした。

横浜子ども会議

７月２５日、飯島中学校ブロックに所属する３校（飯島中、千秀小、飯島小）の代表児童生徒が飯島中学校に集まり、「横浜子ども会議　飯島中学校ブロック」が行われました。今年度も「誰にとっても居心地の良い学校づくり」というテーマのもと、各校の取り組みを発表し、地域の方々や PTA の方からご意見をいただき、より良い飯島中ブロックづくりに向けて話し合いを行いました。９月２日には栄区役所で「栄区子ども会議」が開催され、生徒会長の菅沼千愛さんが代表として参加し、ブロック会議で検討した内容を発表しました。

横浜子ども会議　飯島中学校ブロック（7/25 開催）

今回の横浜子ども会議では、豊田地区連合町内会長の横川様をはじめとする地域の方々や飯島中学校 PTA 会長の堀田様をはじめとする保護者の方々もお招きし、有意義な時間を過ごせました。飯島中ブロックが今日の会議からまた一段と居心地の良い学校を目指していきます。

【各校の取組】～誰にとっても居心地のよい学校を目指して～

飯島小学校

今年は今回の横浜子ども会議実行委員を募り、実行委員が中心となって進めてきています。

居心地のよい、温かな学校なのは、「地域のみなさん」があいさつ運動をはじめ登下校やスポフェスの見守りなどをしてくださり、支えていただいていることに感謝している。そこで、今年の6年生の中から「地域お礼隊」を結成し、感謝の気持ちを伝えていくことを計画している。地域あっての小学校。今回の取組も加え、感謝を伝えることで「笑顔が増え、温かな気持ちになる」そんな飯島小学校を目指しています！！

飯島中学校

意見箱の「意見聞くぞうくん」を使って、希望や疑問に対して、本部役員が中心となって、それらに答えています。また、飯島中学校に通う生徒が1人で悩みを抱えないで相談できる環境を整えています。このことで、いじめが無くなることにも結び付くと考えています。

地域の方も交えてあいさつを積極的に推進しています。あいさつを推進することで友達づくりのよいきっかけにもなります。

各種行事（運動会や文化祭等）を通して、学級・学年の枠を超えて絆を深めています。

千秀小学校

縦割り班活動（スマイル班）を通して、学級だけでなく、学年の枠を超えて相談できる関係づくりを目指しています。運動会や全校遠足では、上級生が積極的に下級生に声をかけていきました。

今年も6年生を対象にアンケートを実施し、居心地の良い学校を目指してどういったことができるのか考えました。夏休み明け、この話し合ったことを踏まえ、全校児童に「いじめ」について向き合う時間を設けます。また、保護者や地域の皆様も一緒になって「誰にとっても居心地よい学校づくり」を推進していきたいです。

10月　行事予定

１０月　４日（火）あいさつ運動
１０月１１日（火）あいさつ運動
１０月１２日（水）個別支援級合同体育祭
１０月１８日（火）あいさつ運動
１０月２０日（木）文化祭（合唱コンクール）
１０月２１日（金）文化祭（ステージ発表）
１０月２４日（月）専門委員会
１０月２５日（火）あいさつ運動・生徒評議会
１０月２８日（金）３年生個人面談・展示見学
～１１月２日（水）